

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8232
担当部課名	保健福祉部	子育て支援	課	児童手当
事務事業名	助産施設母子生活支援施設入所委託		事業コード	13120

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	~63
施策名	第2施策	子育て支援の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉法 助産の実施及び母子保護の実施に関する規則
-------------------------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的 保健上の必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院による出産が困難と認められる妊産婦を助産施設へ入所させ、また、配偶者のない女子等の精神又は身体の状態が児童を監護するのに不適切と認められるとき等に、その母子を母子生活支援施設に入所させ保護することにより、児童の福祉の増進を図る。	(2) 対象(誰、何) 経済的に困窮している妊産婦、又は児童の監護が不相当と認められる母とその児童
	対象数
(3) 平成13年度事業の内容 助産の実施 20件 母子保護の実施 2件	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし
	(5) 個別計画の概要 計画名なし 計画年次 年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	4,276	5,892	8,582	8,700	
	人員・時間数	月3時間	月3時間	月3時間	月3時間	
	人件費	151	151	151	151	
	その他経費					
	合計	4,427	6,043	8,733	0	8,851
特定財源	3,436	4,127	5,318		6,558	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 目標、達成度は表現し難い。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 児童福祉法に基づき、助産の実施及び母子保護の実施を行うことにより、児童の福祉の増進を図る。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 児童福祉法に基づき、助産の実施及び母子保護の実施を行うことにより、児童の福祉の増進を図る。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 児童福祉法に基づき、助産の実施及び母子保護の実施を行うことにより、児童の福祉の増進を図る。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 児童福祉法に基づく保護等であり、不満足との声は聞かない。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 児童福祉法に基づき、助産の実施及び母子保護の実施を行うことにより、児童の福祉の増進を図る。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 市内には母子生活支援施設がないので、入所を必要とする母子がいた場合でも、難しいケースがある。また、入所者負担金の徴収方法についても検討する必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明：</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	国の制度であり、同様の事業は全国で行われている。
		<p>今後の進め方</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 完了</p>
説明		平成13年度は、助産施設には20件の利用があった。うち4件は負担金を徴収する者であるが、現在まで未納となっている。残りの16件と母子生活支援施設に入所している2件は、生活保護受給者で負担金はない。 入所の申し込みを受ける福祉事務所との連携により、未納が発生しないよう取組むとともに、未納者への督促も積極的に進めていく。

8 二次評価における変更点

--